

あまのもり
奄美の森で

こっん、ころころ...

森のあちらこちらから、きこえてくる、
おちてはころがるどんぐりの音。

あまのもり
奄美の森は、シイの森。

小つぶのかわいいどんぐりがなる木だ。



こっん

こっん

ころころ



こっん

ころころ



ほうきくよし
豊作の年は、ほらこんなに！

たくさんのどんぐりで枝がおもたそう！

そんなシイの森には

たくさんの生きものが
くらしている。

アケがなくてほんのり甘い、シイの実^みは、

わたしたち人もむかしから食べてきた美味しいドングリ。

イノシシもカニもオタマジャクシだって、シイの実^みが実^みるのを心待ちにしているんだ。

もちろん、クロウサギも。



リュウキュウイノシシ

アマミシカワガエル
オタマジャクシ



アマミノクロウサギ

熟^{じやく}しておちたシイの実^みの中身^{なかみ}は

真っ白^{まっしろ}！

いつもは草^{くさ}や花^{はな}や木^きの根^ねなど
いろいろな種類^{しゆるい}の植物^{しよくぶつ}を食べるクロウサギも、
この時期^{しき}はシイの実^みばかり食べるから、
ウンチまで白^{しろ}くなっちゃった。



サカモトサワガニ



シイの実^みを食べた
真っ白^{まっしろ}なウンチ



シイタケ

あの有名なキノコ、シイタケも、
シイの木とは大のなかよしだ。
奄美の森にはシイの木がたくさんあるから、
天然のシイタケも育ちやすい！
昔、本土の人たちは、シイタケ菌が奄美から南風によって
とんてくるのをまっていたんだって。

台風などでたおれたシイの木は、枯れて、朽ちて、
キノコや虫たちに分解されて。
そうやってまた、森を育むんだ。



オキナワキノボリトカゲ

ぽかぽかしたぽっこり～



リュウキュウズアカアオバト

ここに卵を産もうかしら



リュウキュウコノハズク

ぽくたちもシイの木で産まれたよ！



アマミシカワガエル

涼しくていい気持ち～

キノボリトカゲもコノハズクもアオバトも、シイの森が好きみたい。
イシカワガエルが木のうろで一休み。